

真行草

平成 29 年度
11 月発行

第 10 号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OB OG 係 hamai_kyudo_ob@yahoo.co.jp

毎年 1 回発行

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス
<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>

全医体第 3 位!!



平成 29 年 9 月 24 日 全日本医科学学生体育大会王座決定戦

私はドイツで何をしていたか？

弓道部 師範 佐藤清昭

私は 1974 年から 1985 年までの 10 年余り、ドイツのテュービンゲンという街に滞在していました。いえ、いえ、遊んでいたわけではないんですよ…。それではそんなに長い間、ドイツで何をしていたのでしょうか？（以下の文章は、「一見」みなさんには関係がないようですが、なんらかの参考になるかもしれません）

（1）ドイツ語の勉強

外国人の「日本語学」研究者が、たとえば「私が日本語学を研究しちゃいます」というような「誤った」表現を使うとしたら、私たちはその人の「研究者としての真摯さ」を疑うでしょう。

私は「ドイツ『語学』研究」の前提として、「ドイツ人のように話し、書ける」ようになるよう、日々努力しました。必死でした、本当に…。

今でも、ドイツ語を読み、書き、聞き、話す時は、私は「ドイツ人になって」います。もちろん「完璧な」ドイツ語、ネイティブのドイツ語ではない。その意味で「死ぬまで勉強」なわけです。

しかしお陰で、私は「この世界」を「日本人として」、それから「ドイツ人として」把握することができます。例えば（日本語しか知らなかった）私の両親は、自分たちを取り巻く世界を「日本語」を手がかりとしてのみ「分割」し、理解していました。それに対して私は、日本語とドイツ語という二つの「分割の仕方」を知っています。その意味で私は人生を、両親の「二倍分」生きている、ということができます。

（2）ドイツ語学と一般言語学の研究

テュービンゲン大学では、すぐれた二人の言語学者と知り合う、という幸運に恵まれました。この二人のお陰で、自分のその後の「研究者」としての方向が決まり、学位論

文も書き上げました。

（3）論理的思考能力の訓練

ドイツ人学生に混じってゼミに参加し、発表する、レポートを書く、あるいは学位論文を書く、となると、「論理的思考能力」を「鋭く」訓練しなければなりません。しかしそもそも「ドイツ人社会」の中で暮らしていくには、「論理的」である必要がありました。「非論理的」な人間はドイツでは、（たとえばパンひとつ買うという）日常生活においてさえ、まともに相手にされません。

（4）国際人感覚の涵養

ドイツでは、ドイツ人だけでなく、いろいろな国からきた留学生たちと親しくなりました（その中にはイスラム教を信仰する人々もいました）。これにより、日本を「外から」客観的に観察することができ、「考え方の多様性」を学ぶことができた、ということができます。

北朝鮮の問題、中国との関係など、外交上、気が重くなる懸案がいろいろとありますが、私たちひとりひとりが「国際人」としての感覚を鋭くしていくならば、「短絡的な」思考はおのずと排除されていくことだろう、と思います。



夏のうなぎ杯の様子

安定

弓道部顧問 三澤清先生（平成6年度卒）

佐藤清昭前部長から部長を引き継いで4年目になりました。3月の追出しコンパ、4月に新歓コンパに参加したのが今年の主な活動でした。新チームになって東海医歯薬男子優勝、全医体3位など好成績をあげることができました。例年より成績は目立たないところはあったかもしれませんが、内容を見れば確実に浜松医大の伝統の力が後輩に伝わっているのがわかります。鷺見主将をはじめ部員全員での安定した部内運営の能力は浜松医大弓道部の自慢できる点の一つだと思います。

1年間に数多くの大会に参加し、交流戦を行い忙しい部活動だなど、私の学生時代との違いに驚くばかりです。部長・OBとして出来ることは少ないですが、大会で1番の成績を挙げた選手に記念のトロフィーを贈呈しています。いままで4人（石川駿君、望月琴美さん、村井雄紀君、藤田王樹君）が、大会での最多的中を成し遂げました。今年は、鷺見健翔君が、東海国立体育大会で20射皆中しています。大会の雰囲気も、対戦方法も違う大会での皆中はまた価値があると思います。

話は変わりますが、私には2人の子供がいます。兄が中2、弟が小3です。毎年、医大祭では射的で遊ばせてもらって喜んでます。兄は野球部に所属していますが、夏休みごろから関節痛がひどく練習後に発熱もあったため、小児科で検査をしたら、炎症性腸疾患という病気でした。大変驚きこの子の将来のことをいろいろ考え、親としてどうサポートしてあげたらいいのか考える日々です。幸い、栄養療法も順調で学校に通っています。とにかく安定した生活を送ってほしいと思っています。

昨年は、多くの6年生が卒業しました。今年は、多くの1年生が入部してくれました。これから、また新しい弓道部の歴史が始まると予感させます。いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。学生時代に1つの事に打

ち込み、新しい自分を見つける、そして磨くことは、学生時代の、時間が腐るほどある時にしかできません。卒業すると時間の減少と体力の消耗でチャレンジする気持ちが減りますが、弓道部でのチャレンジする経験が卒業後にも気持ちを奮い立たせてくれると思います。ぜひ、弓道部での時間を大切にしてほしいと思います。

浜松医科大学弓道部の皆様へ

OB OG 会長 丸山哲史先生（平成4年度卒）

弓道部の皆さん、こんにちは。OB OG 会長の丸山です。毎年現役部員の活躍にはとても元気をいただいております。さて、私事ですが先日アルバムを整理したところ大学時代の写真が大量に出てきました。そこで、今回は弓道部の思い出の写真に掲載いたします。

1枚目はこちら。日付は1991年6月30日です。後列左から3番目が私ですが、1年生最初の試合でかなり緊張しています。

当時は正式に部になったばかりで全員集まってもこれだけしか居ませんでした。





2枚目は、1枚目の写真から1年後、1992年5月15日の写真です。弓道部は滋賀医大戦が無いので、みんなで鳥羽水族館に行きました。なんというか、1年で物凄く馴染んでいますね。弓道部は先輩も後輩も和気あいあいとした雰囲気、本当に楽しい部活でした。

他にも建設中の弓道場など興味深い写真があったのですが、それはまた別の機会にご紹介したいと思います。

これからも浜松医科大学弓道部が皆さんに素晴らしい思い出を提供してくれる場所であり続けることを願っております。

OBOG 会会計監事挨拶

OBOG 会会計監事 田村智先生（平成19年度卒）

昨年度より OBOG 会の会計監査を担当させていただいている、2008年卒の田村智と申します。今回、OBOG 会役員としてご挨拶させていただくこととなりました。

もともと私は埼玉の出身であり、2002年に浜松医大に入学し、弓道部に入部しました。運動というものが苦手だった私は大学からでも始められ、あまりきつくない部活にしようという、やや不純(?)な動機で選んでおりました。

それが結果、昼夜問わず弓道場に入り浸り、練習漬けになったのですから、選択は間違っていなかったということでしょうか。

私が在籍していた頃は初めて東国体の1回戦を突破するなど、弓道部として強さを求め出した時期であったように思います。大会での勝利を嬉しく思う一方で、部員の中でも温度差が出て来てしまったりと、運営に頭を悩ませたりしていたことを思い出します。いかに部員みんなに気持ちよく活動してもらおうか、色々苦心しながら過ごしておりました。卒業して10年が経過し、あの頃は非常に貴重な経験をさせていただいたと改めて思います。

今や弓道部は西医体優勝を重ねたり、五段取得者が複数いるなど、自分の代の時には考えられないような強い部活となりました。現役部員の皆さんの活躍には目を見張るばかりです。これからもさらなる活躍を期待しております。

さて久しぶりに弓道部に関わらせていただくことになったわけですが、振り返りますと卒業後は業務に手一杯となってしまい、弓道とは縁遠い生活となっております。時々、浜松医大主管の大会で待機医師として関わらせてはいただいておりますが、やはり実際に弓に触れるわけではなく、現役部員の活躍を見て、また「弓を引きたいなあ、(けれど時間がない…)」と悶々とすることもありました。私を含め、OB・OGの皆さんは、行きたくてもなかなか弓道場に顔を出せないでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。OBOG 総会で皆さんにお会いする機会はあるのですが、何らかの形で弓道場に顔を出せる、弓道に触れることができる、いいきっかけがあればなあと思う次第です。本当にとりとめのない、雑多な文章となってしまい申し訳ありません。引き続き、OBOG 会の運営に携わってまいりますので、今後も何卒よろしく願いいたします。

前主将挨拶

第29代主将 鷲見健翔(医学科4年)

向寒の候、OB・OGの皆さまにおかれましてはますますご清勝のこととお慶び申し上げます。常々ひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

昨年の10月から今年の9月まで主将を務めました、医学科4年の鷲見健翔です。1年間職務を全うできたのは多くの部員の協力と、OB・OGの方々の応援やご支援のおかげです。特に今年は遠征費が例年以上に多くかかり、OB・OG会から多くの補助をいただきました。皆さまのご支援に部員一同大変感謝しております。

さて、この1年の最大の課題は、縦のつながりや結束を強め多くの方が部活を楽しめる環境を作ることでした。振り返ると、如何にして先輩方が築いてきてくださったことを維持し発展することができるのか、非常に難しく自分の力不足を感じるが多々ありました。しかし、1年を通して部活を良くしようと思って行動する仲間や後輩が増えていったことは大変うれしく思います。

成績を振り返りますと、今年の主な試合結果は、東海歯薬男子団体優勝、静岡県下女子団体春夏優勝、西医体男子団体5位、全医体団体3位などです。県下の女子を除けば、ここ数年のような結果を残すことはできませんでした。今年は強かった先輩方が卒業したため現役生中心のチームとなり、チャレンジャーとして仲間と射を磨きながら試合に挑戦しました。以前の会報誌でOB・OGの先生から「勝負を楽しむ」という内容の寄稿を頂きましたが、勝負を、弓道を、そして部活を楽しむことができたことは本当に幸せでした。

今年は新入生が21人入部し、熱心に和気あいあいと練習しています。忙しい中、試合や指導を頑張った次の幹部学年を中心に、来年はさらに活気に満ちた部活になると思います。今後ともご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

以上、略儀ながらご挨拶とさせていただきます。末筆ながら皆さまのなご一層のご健勝を祈念申し上げます。

前看護科主務挨拶

大畑美月(看護学科3年)

深秋の候、OB・OGの皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年10月より1年間看護科主務を務めさせていただきました、大畑美月です。

今年は、昨年の西看大での優勝を再び手にするため、全員で目標を高く持ち、日々練習をしてきました。西看大では、看護学科全員が自身の最大限の力を発揮するべく臨みましたが、惜しくもあと一步届かず団体戦・個人戦共に結果を残すことができませんでした。優勝を目指して1年間練習に励んでいただけに悔いが残る結果となりましたが、新入生の個人戦予選通過や、団体戦における活躍などが見られ、看護学科全体として少しずつ成長していると思います。今後とも高い目標に向かって精進していきたいと思えます。

次期看護科主務は金子虎太郎が務めます。次期看護学科幹部学年は彼一人ですが、彼は後輩の面倒見も良く、弓道に対する熱心な姿勢も持っており、医学科・看護学科問わず人望のある存在です。また団体戦や個人戦での活躍もあり、弓道部のとても頼りになる存在です。これからの看護学科や弓道部を益々成長させてくれることと思いますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、前看護科主務挨拶とさせていただきます。

新主将挨拶

第30代主将 鈴木蓮(医学科3年)

清秋の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

10月より浜松医科大学弓道部の第30代主将を務めることとなりました、医学科3年の鈴木蓮と申します。OB・OGの皆様が築き上げてこられた伝統ある部の主将を務めさせていただくことを光栄に思うと同時に、大きな責任に身の引き締まる思いです。

現在、浜松医科大学弓道部は大学の中でも有数の大きな部活となっています。今年度も医学科17名と看護科4名の合わせて21名の新たな仲間が加わり、現役部員が38名、全体で75名という、ますます賑やかな部活となりました。このような大人数の部員が不自由なく弓道に取り組み、大会にも滞りなく参加することができるのは、ひとえにOB・OGの皆様のご支援のおかげです。この場を借りて皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、私の考える主将としての役割は、弓道部の伝統を受け継いでいくとともに、部員一人ひとりが弓道を通じて楽しく充実した活動を行うことができる環境を作っていくことだと思っています。もちろん、個人的には試合での勝ちにこだわりたいという気持ちもありますが、部員75名それぞれの弓道(部)に対する思いは違います。部員の中には、弓道が好きで、弓道に一生懸命取り組む者もいれば、弓道部の雰囲気を楽しみ、弓道自体はそれほどという者もいます。様々な考えの人間がいて、弓道部が成り立っていることを常に念頭において、部活をまとめていく必要があると思っています。

未熟な点も多くご迷惑をお掛けすることも多々あるとは存じますが、変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展を心からお祈り申し上げます、新主将挨拶とさせていただきます。

新看護科主務挨拶

金子虎太郎(看護学科2年)

吐く息の白さに、秋の終わりを感ずる頃となりました。OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のことと、お慶び申し上げます。平素は浜松医科大学弓道部に格別なご支援を賜り、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

10月に幹部交代を行い看護科主務を務めさせていただくことになりました、金子虎太郎です。

昨年の西看大で悲願の初優勝を遂げた一方で、今年度の西看大では団体戦、個人戦ともに良い成績を残すことが出来ませんでした。昨年度、今年度と二年連続で団体に出場させて頂いた身として、来年度以降はより日々の鍛錬に尽力し、互いに研鑽し、「勝つ」という目標を強く持つべきだと再確認できました。

昨年看護学科で入部したのは私一人でしたが、今年は1年女子2名に男子1名、編入生1名と一昨年までと同数の新入生が入部しました。まだまだ弓道部全体における看護学科の学生の人数は多くありませんが、彼らにとって居心地の良い雰囲気であり、更なる活躍を目指せる場、そして弓道部の伝統をしっかりと伝えていける場にしていけるよう日々邁進していきます。未熟者で多々至らぬ点もあり、皆様にはご迷惑をお掛けいたしますがどうぞ今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、看護科主務の挨拶とさせていただきます。

OB・OGの方々からご寄稿を頂きました！

愛知県大同病院

加藤佑季（平成26年度卒）

秋されの折、小春日和が続いております。OB・OGの皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。在校生の皆様におかれましては今年も西医体・西看大お疲れ様でした。平成26年度医学科卒、愛知県大同病院内科専攻医の加藤佑季と申します。

初期研修を終え主治医となることによりやうやく少し慣れてきた一方で、自分の至らなさにまだまだはっとさせられる毎日を送っております。そんな中懐かしい後輩からこの度の寄稿の件でご連絡頂きまして大変嬉しく思っております。

浜松医科大学弓道部は私にとって多くを学ばせて頂いた大切な場です。先輩方のお忙しい中丁寧にご指導下さり、仕事を通して責任感を芽生えさせ、何事にも積極的に取り組む大切さを教えてくださいました。

今でも大切に飾ってある的や色紙を眺めると、つい手に取り懐かしさでいっぱいです。寄せ書きを見たどの友人にも羨ましがられ、誇らしい気持ちにもなります。

思い起こせば8年前私が初参加した長崎での西医体で、選手招集所に全員で応援に来ていることを主管大学の部員が思わず「いいなあ」と呟いたことは非常に印象的でした。

「いい部活に入ったんだなあ」と感じた瞬間でした。今思えば、あの「いい部活」は青空道場の頃からの先輩方の努力の積み重ねそのものでした。しかし良いことが続くと私たちは当然視し、努力を忘れがちになります。「いい部活」の実態は部員毎に異なります。「成績のいい部活」「自分の時間が確保される部活」「仲のいい部活」等々。私はそれを仲間同士で真剣に議論し実現しようと取り組むのが「いい部活」だと思います。一つのことに没頭し部員一同一丸となって取り組めたのは後にも先にも私にとっては弓道部だ

けでしょう。浜松医大弓道部で大学生活を送れましたことを幸せに思います。

冷気が日ごとに増え、道場横の紅葉も散ってしまった頃でしょう。OB・OG・在校生の皆様のご多祥を心よりお祈り申し上げます。総会等で皆様にまたお目にかかれましてことを楽しみにしております。

静岡済生会総合病院

村井雄紀（平成28年度卒）

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。静岡済生会総合病院研修医1年目の村井雄紀です。社会人になり半年が経ち、学ぶべきことの多さに圧倒されながらも周囲の方々に支えていただき、何とか働いております。

卒業後は部活や弓に接する機会がめっきり減ってしまいました。しかし、試合の日はホームページの速報やメーリングリストで結果を知るのをいつも楽しみに待ち、在校生の皆さんが頑張っている姿を思い浮かべて活力を頂いています。それと同時に、弓道部で過ごしてきた様々な場面が鮮明に思い起こされ、私の学生生活において弓道部がとても大切な場所であったことを改めて実感しております。

今年度は21人もの新入生が入部してくれました。これからはその一人ひとりが、上級生に支えてもらいながら弓道部の新たな力として活躍し、部をますます盛り上げてくれることを期待しています。そしてそれを現実のものとするためには、OB OG会としても遠征費や弓具代等の支援を今まで以上に行っていく必要があると考えております。今後も浜医弓道部が更に発展し、多くの方にとって大切な場所であり続けられるよう、私自身も微力ながら協力して参ります。僭越ながら皆様からのより一層の温かいご支援をこの場をお借りしてお願い申し上げます。

済生会横浜市東部病院

鈴木亜佑実（平成28年度卒）

秋晴の候、浜松医科大学弓道部のOB・OGの皆様、並びに在学生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成28年度看護学科卒業生の鈴木亜佑実です。

私は現在、済生会横浜市東部病院の心臓外科・血管外科・循環器内科病棟で看護師1年目として働いています。入職から半年が経ち、自立して行えることが増えた半面、それに伴う責任と自分の未熟さを日々感じながら必死に働いています。生まれも育ちも田舎の私にとっては、いつでもすぐに遊びに行けるこの環境はとても魅力的で、ようやく生活にも慣れて楽しめるようになりました。

さて、夏の大会前久しぶりに浜医の道場へ行く機会がありました。立ちを終えて汗だくになっている後輩たちや夏の道場のあの蒸し暑さ、何とも言えない更衣室のおいを懐かしく感じました。また暑い中皆さんが練習や指導に取り組む姿を見て私も元気をもらいました。卒後も変わらず温かく迎えていただいとてうれしかったです。今度はぜひ飲み会や試合を応援しに行きたいなと思います。

今年は新入生が大勢入部したとのことで、部活全体がさらに活気づいていることと思います。先輩方の代から続いている浜医の学年を超えた仲の良さをこれからも大切にしたい、一人一人が部活に貢献できることを考えて部活を楽しんでください。メーリスでの報告を楽しみにして、これからも陰ながら応援しています！

今年度もOB・OGの方々からご寄稿を賜りました。お忙しい中、誠にありがとうございました。今年度に引き続き、来年度の会報誌にもぜひ、ご寄稿のご協力をお願い申し上げます。

PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものをご覧いただけるように、ホームページからダウンロードをできるように致しました。

是非ご覧ください。

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>から

[アイテム] → [会報誌] にてご覧になれます。

主管について

2018年度の東海医歯薬学生弓道大会では浜松医科大学が主管を務めます。中部ブロック医科学生弓道大会・全日本医科学生体育大会王座決定戦での主管の経験を活かし、部員一同、より良い試合運営を目指します。

近況報告

(一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します。)

↓11月 秋のイソップ・竹山杯

↓11月 医大祭

今年度は西看大は岐阜、西医体は山口、全医体は秋田と例年より遠い地で開催されたため多くのOB・OGの皆様からご支援を頂きました。心より感謝申し上げます。

引退して早1年が経過し、すっかり道場から遠のいてしまいましたが、時々道場に行くとき後輩や先輩方が暖かく受け入れてくれ、これも昔から続く雰囲気の良い弓道部ならではの感じる日々です。今年度は20名もの1年生が入部してくれ、さらに活気のある弓道部になるかと思えます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

西恵佳(医学科5年)



弓道部に入り半年が経ちました。浜医の弓道部に入部したおかげで、わたしたち1年生は楽しく、充実した練習をすることができています。それも、いつも熱心に指導して下さる先輩方、またお忙しい中道場に来ていただいているOB・OGの方々のおかげだと感じています。先輩方に早く追いつけるよう、わたしたち1年生も頑張りたいと思います。

久松優作(医学科1年)

弓道部に入部し、早一年半となりました。今年度は多くの後輩にめぐまれ、先輩として少しでも成長しなければと痛感する毎日です。今年度も西医体、全医体など数々の大会で貴重な経験をさせていただきました。このような経験ができるのも、先輩のご指導、OB・OGの皆様方のご支援の賜物であるということをお忘れずに、日々精進してまいりたいと思います。

杉山和(医学科2年)

今年度は部全体としても個人としても、なかなか大会で思うような結果が残せず悔しい思いをしてきました。それでも、OB・OGの皆様にご多大なご支援をいただいているおかげで、不自由なく稽古に励むことができています。本当にありがとうございます。これからは引退生となりますが、OB・OGの皆様が築かれてきた伝統や部の雰囲気を、弓道を通じて多くの部員と共有できるよう尽力させていただきます。

井澤将太(医学科3年)



↑11月 しゃちほこ杯

↓11月 東海医歯薬



↓12月 冬のうなぎ杯



↓12月 グラスカップ



↓1月 三十三間堂



引退してから早1年、現在は実習等で弓道場に行く機会が減ってしまいましたが、一部員として弓道を楽しんでいます。大会で活躍する後輩たちや忙しくても練習を続けている部員たちとともに、これからもOB・OGの先輩方が築いてくださった弓道部を盛り上げていきたいと思っています。

馬場皓大(医学科5年)

弓道部に入って早くも一年半がたちました。2年生になって21人もの後輩を迎えることができ、賑やかな部活時間を楽しむとともに、先輩方から教わったたくさんを後輩たちに教えていかなければいけないと強く感じます。

毎日弓道の練習ができる環境に感謝しながらこれからも練習に励みたいと思います。

日高のぞみ(医学科2年)

OB・OGの皆様、平素より多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年は道場へ行った後輩と遊んだりして幹部学年として部活や先輩への恩返しができるよう努めました。この1年を通して、弓道部は様々な人に居場所のある部活であることを改めて感じました。

これからは引退生として下級生を見守り支えることで、部活の雰囲気をよくするお手伝いをして、お世話になった先輩方に恩返しをしたいと思っています。

市川めぐみ(看護学科3年)



↑2月 春季県下

県下での春夏女子優勝は3年ぶりです！

3月 メモリーカップ↓



3月 追いコン↓



3月 合宿↓



OB・OGの皆様、日頃より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。10月から代替わりし、私たち15医学科、16看護科が幹部学年となり、みな新しい環境に戸惑いつつ、上達を目指して試行錯誤の毎日をご過ごしております。不安は多々ありますが、先輩方が築いてくださった浜松医科大学弓道部の名に恥じぬよう、副将として鈴木主将を支え、さらなる弓道部の発展に貢献できればと思っております。

渡辺萌(医学科3年)



↑3月 卒業式

新生活が始まり不安の多い中、道場に行き先輩方から指導を受けながら弓を引いている時間はとても充実し、安心する事ができました。この半年間、生活の中心に弓道があったのもOB・OGの皆様が受け継がれてきた部活の雰囲気自分が魅了されたからだだと思います。頼れる先輩方や打ち込めるものに出会えたことに感謝しつつ、日々精進していきたいと思っております。

土屋友洋(看護学科1年)



↑4月 理工科戦

↓5月 新歓遠足

↓6月 中部ブロック

↓6月 夏のうなぎ杯



弓道部に入部して3年目となり先日、幹部学年となりました。自身が経験した主将がもう4人目になったことを考えてみると時間の経過をひしひしと感ずることが出来ます。最初は先輩しかいなかったものの、いまでは後輩も増え、部活内での立場、視点といったものが変化していることを日々感じます。そういったことを踏まえ、先輩方、OB・OGの方々に教わったことを自身がしっかりと示せるように今年1年間は特に気を引き締めたいと思っております。

河合佑樹(医学科3年)

OB・OGの皆様、平素より格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。今年度、私は多くの団体戦で弓を引きました。団体の結果は様々でしたが、後輩と弓を通して喜怒哀楽を分かち合えたことが何より嬉しかったです。速報の〇xでは見えない後輩の努力や成長を感じ、今後も部活全体は成長していくであろうと期待が持てる1年でした。部員一同一丸となり努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

藤田王樹(医学科6年)

↓6月 山梨大学戦



↓6月 東国体



↓6月 BBQ



OB・OGの皆様、平素よりご指導賜りまして誠にありがとうございます。今年は一年生が大勢入部し、より活気のある部活になりました。教育課程が変わった学年では、試合前に十分な練習量が確保できず苦勞もしたようですが、弓道と勉学の両立を上手くしていたと思います。試合では団体メンバー同士で互いに助け合い、楽しそうに引いていたのが印象的でした。これからも浜松医科大学弓道部をよろしく願い申し上げます。

吉本恭子(医学科6年)

入部からまだ半年ですが、入ってよかったと心から思っています。気さくで尊敬できる先輩方のおかげで縦の繋がりが強く学年の隔たりなく仲良くなれたことが理由の一つだと思います。今は人間としても弓を引く人としてもはるか前を歩く先輩方をただ追いかけ、先輩方が作り受け継いできてくださった弓道部で楽しい日々を過ごすばかりですが、いつか先輩方の役目を引き継ぎ弓道部を次の世代へ繋いでいけるようになればよいと思います。

田淵明日香(医学科1年)



↑7月 夏季県下

OB・OGの皆様、平素よりご支援賜りましてありがとうございます。幹部学年としての1年間、本当に多くのことを学びました。副将として悩むことも多々ありましたが、いつも温かく接してくれる部員に恵まれ、とても楽しく過ごすことができました。今年は沢山の1年生が入部してくれたので、今後の活躍を楽しみに、一部員として協力していきたいと思っています。

伊藤望(医学科4年)



↑8月 西医体



↑8月 西看大

今年度の西医体は山口県、西看大は岐阜県、全医体は秋田県で行われました。



↑9月 全医体

昇段審査結果

2016年

11月 中部地区審査(静岡市・北部体育館)

参段 鷺見健翔 (医学科 3年)
大畑美月 (看護学科 2年)

2017年

1月 愛知県地方審査(愛知県武道館弓道場)

参段 神戸美有希 (医学科 2年)
渡邊萌 (医学科 2年)

2月 静岡県弓道連盟定期審査(静岡市・北部体育館)

四段 藤田王樹 (医学科 5年)

3月 西部地区審査(佐久間)

式段 金子虎太郎 (看護学科 1年)
参段 川口琴子 (医学科 3年)

5月 中部地区審査(静岡市・北部体育館)

四段 川崎七海 (医学科 3年)
窪川瑞生 (医学科 3年)

9月 静岡県弓道連盟定期審査(静岡市・北部体育館)

式段 小川結衣 (医学科 2年)
山口藍 (医学科 2年)
四段 鷺見健翔 (医学科 4年)

10月 西部地区審査(浜松市弓道場)

初段 家田萌奈美 (医学科 1年)
伊賀由梨香 (医学科 1年)
大山晃生 (医学科 1年)
梶原陸 (医学科 1年)
小永井桃 (看護学科 1年)

小林開 (医学科 1年)
塩田紘子 (医学科 1年)
高岡颯生 (医学科 1年)
滝澤知佳 (医学科 1年)
田淵明日香 (医学科 1年)
土屋友洋 (看護学科 1年)
中村将人 (医学科 1年)
長谷川毅 (医学科 1年)
長谷川侑香 (医学科 1年)

原大悟 (医学科 1年)
久松優作 (医学科 1年)
藤原達矢 (医学科 1年)
梁瑗真 (医学科 1年)

式段 山下莉彩華 (看護学科 3年)
鈴木まこ (看護学科 1年)

四段 鈴木蓮 (医学科 3年)

学年はすべて当時のものを記載しております。



10月 西部地区審査の様子

試合結果(2016. 10～2017. 9)

東海医歯薬学生弓道大会(2016. 12. 3～4)

【団体戦】

男子団体 **優勝**

【男子個人戦】

村井雄紀(医学科 6年) 第6位

【女子個人戦】

川口琴子(医学科 3年) 第3位

渡邊萌(医学科 2年) 第6位



↑東海医歯薬学生弓道大会の様子

静岡県下学生弓道選手権春季大会(2017. 3. 4)

【団体戦】

男子団体 A 第3位

女子団体 A **優勝**

女子団体 C 準優勝

女子団体 F 第3位

【男子個人戦】

鈴木蓮(医学科 2年) 準優勝

【女子個人戦】

岩瀬千郷(医学科 4年) 第3位

渡邊萌(医学科 2年) 第4位

中部ブロック医科学生弓道大会 (2017. 6. 10～11)

【団体戦】

男子団体 第3位

【男子個人戦】

鈴木蓮(医学科 3年) 第6位

【女子個人戦】

神戸美有希(医学科 3年) 第5位

東海地区国立大学体育大会(2017. 6. 17～18)

入賞者はいませんでした。



↑東海地区国立大学体育大会の様子

静岡県下学生弓道選手権夏季大会(2017. 7. 9)

【団体戦】

男子団体 A 準優勝

女子団体 A **優勝**

【男子個人戦】

鷺見健翔(医学科 4年) 第4位

佐藤大輝(医学科 6年) 第5位

【女子個人戦】

杉山和(医学科 2年) 第3位

西日本医科学学生総合体育大会(2017. 8. 10～13)

【男子個人戦】

鷲見健翔(医学科 4年) 第6位

【女子個人戦】

小川結衣(医学科 2年) 第4位



↑西日本医科学学生総合体育大会の様子(上2枚)

**西日本看護学生弓道選手権大会
(2015. 8. 14～16)**

【団体戦】

団体A(60射 28中)

団体B(60射 7中)

団体C(60射 12中)



↑西日本看護学生弓道選手権大会の様子

**全日本医科学学生体育大会王座決定戦
(2017. 9. 23～24)**

【団体戦】

団体(120射 76中) 第3位

【個人戦】

鷲見健翔(医学科 4年) 第5位



↑全日本医科学学生体育大会王座決定戦の様子

第4回OBOG総会のお知らせ

第3回OBOG総会では、多くのOB・OGの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。第4回OBOG総会は、創部30周年を記念して盛大に開催する予定です。以下の日時・場所で開催しますので、ご調整のほどよろしくお願い申し上げます。OB・OGの皆様の多くのご出席をお待ちしております。

日時：2018年2月24日(土) 18:30 開始予定

場所：ホテルクラウンパレス浜松

(浜松市中区板屋町110-17)

会費・決算報告について

OB・OGの皆様におBOG会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告や今年度の会計予算について記載した報告書も同封いたしました。多くのご援助、深く感謝いたします。

OBOGメーリングリスト

OBOG係では、試合結果やコンパのご案内などをメーリングリストにて配信しております。メーリングリストの登録をされていない方は、江澤康平までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。

江澤康平：kouhei.ezawa.med@gmail.com

編集後記

初冬の候、皆様におかれましてはますます清栄の事とお喜び申し上げます。

今年は、試合で思うような結果が出ず、苦勞する一年でした。しかし、三年ぶりの県下での春夏女子優勝や、全医体第三位など、日々の練習の成果を感じることができた試合もありました。

また、昨年度は卒業生も多く、寂しさもありましたが、四月には二十一人もの新入生が入部し、昨年度以上に道場が賑やかになりました。学年の隔たりなく和気藹々と部活や行事に参加する様子を見ることができ、弓道部の良いところを再実感いたしました。

次回の第四回OBOG総会は、創部三十周年を記念して盛大に開催する予定です。部員と皆様がつながりを感じることができるよう努めていきたいと思っております。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

OB
OG
係

江澤康平 山本麻里奈
小川結衣 藤原達矢